

広島県広島市



改修後の外観と左奥に新病棟



改修前の外観



7階のエレベーターホール



7階のデータ解析室

施設概要

建築主 : 広島大学
 所在地 : 広島県広島市南区
 敷地面積 : 143,954m²
 主要用途 : 大学研究施設
 建築面積 : 1,355m²
 延床面積 : 9,260m²
 構造 : SRC造
 階数 : 地上7階

コンセプト

本建物は1968年竣工の大学附属病院病棟を耐震補強し、総合研究棟にコンバージョン(用途変更)して、建物を再生しました。

構造としては、8階建ての中高層建物であり、用途変更により地震時の荷重量が増加します。よって桁方向は制震工法を採用し、また張間方向は荷重増の低減を図るため、鉄骨ブレースを新設することで、耐震性を向上させました。

既設外装材のタイルは撤去せず、アンカーピンで定着したネット張りによる吹付を採用し、残材処分が少ない環境に配慮した工法としました。